(1) 概要



施丁地の位置図

平成16年度の集落水源山地整備によって施工された施設。地すべり地帯に 隣接する貯水池に流入する渓流である。粘土質の表層地質の影響からか、集水面積130.2haの貯水池は濁りやすく、現地踏査の際も、平水時において表流水が濁水化している。

施設構造は、一般的な鋼製枠治山ダムであり、水土保全施設であるが、立地を考慮し、貯水池等保全タイプの濁水移動域における透過型施設に区分した。なお、施設の集水面積は37.1haである。

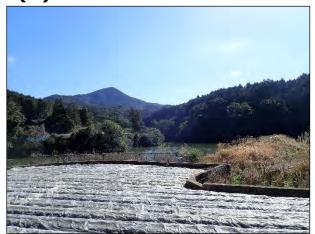


集水域の鳥瞰イメージ



平面図

(2) 保全対象・下流状況



保全対象の貯水池



貯水池



貯水池から水質保全施設までは濁水が発生。



鋼製枠護岸工



水質保全施設直下の治山ダム。濁水が発生。



治山ダム水抜きからの湧水。濁質を含む。

(3) 施工当時の状況



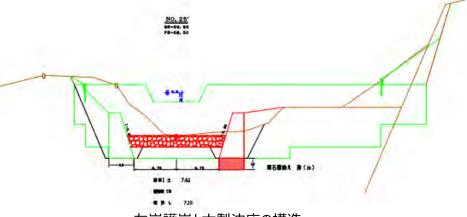
上流右岸から貯水池方向



水叩の左岸側 水叩部は木製沈床構造



貯水池は、集水域が地すべり地帯で濁りやすい。



左岸護岸と木製沈床の構造

計画勾配2%、水叩に木製沈床を配置している。地すべり地帯で堆積土砂は粘土質。

(4) 現地踏査結果



治山ダム正面。



治山ダム堆砂敷。表流水はない。



治山ダム上流から下流方向 木製沈床の洗堀。



支流の治山ダム



堆砂敷は粘土質。表流水あり。



フトンカゴ流路。表面は菱形金網。